

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 総合シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業(事業期間:平成28年度～平成30年度)
事業の目標	「奥河内」イメージを活用し、「自然や緑を活かした林業の基盤整備と活性化」、「地形を活かした観光基盤の整備と振興」、「地元ブランド製品の魅力発信と販路拡大」など本市の地域資源に磨きをかけながら新たな魅力の創出と活性により個々の地域資源が持つ価値を高めるとともに、磨きをかけた地域資源を更に有機的に結び付け、本市の魅力や評価を高めることで、内外から良好な評価を得、選ばれる都市としての優位性を確立し、本市への新しい人の流れを作り、まちの賑わいの創出や交流人口の拡大を図ることを目的とする。そして、奥河内のまちの観光魅力の向上と観光消費の活性化による観光産業を推進し、観光によるまちづくりの実現をめざすものである。
全体の概要	河内長野市が進める「奥河内構想」のもと、自然や歴史・文化などの地域資源を活用したグリーンツーリズムやスポーツツーリズムなどの体験型の新たな観光産業等の創出を図り、奥河内観光による地域づくりを推進する。

【数値目標及び実績】

項目		事業開始前	平成28年度 (増加分)	平成29年度 (増加分)	平成30年度 (増加分)	累計
年間観光入 込客数【人】	目標	986,800	10,000	15,000	15,000	40,000
	実績		3,061	54,836		57,897
年間観光案 内所利用者 数【人】	目標	6,845	155	300	300	755
	実績		-233	796		563
指標の状況及び事業への反映の考え方		平成29年度の年間観光入込客数は、目標値を大幅に超え増加した。このことは、平成28年度からの「奥河内観光地域づくり推進事業」において、農・商・観光の様々な角度から、地域資源の磨き上げと新たな魅力の創出に取り組み、交流人口の拡大に向け、実を結び始めている結果と考えられる。 今後は、「奥河内観光地域づくり推進事業」による交流人口の拡大のみならず、新しい人の流れが観光消費を高めるよう、観光地域づくりの基盤整備の充実に取り組む。				

※平成30年度実績は見込み

【事業の構成】

総合戦略の位置付け	要素事業	H30年度の具体的な取り組み	担当課	
基本目標2 新しいひとの流れをつくる 【施策3. 観光交流の振興】 「奥河内くろまろの郷」や周辺施設の整備、グリーンツーリズムの推進や観光情報の発信など、本市への外国人観光客をはじめ来訪者の増加と滞在時間の拡大に向けた取組みを推進します。	観光体制整備	①「奥河内くろまろの郷」観光プログラム推進事業	農業体験と観光プログラムを活用した「体験プラン」の構築事業 農林課	
		②奥河内魅力創出事業	観光協会組織強化事業(基盤強化)	産業観光課
			観光拠点整備(観光案内所の充実)	産業観光課
			奥河内サイクルツーリズム事業(レンタサイクルの実施ガイド付サイクリングツアーの実施)	農林課
			奥河内ロゲイニング事業	農林課
基本目標1 安定した雇用を創出する 【施策1. 地域産業の育成・支援】 河内長野市産業アクションプランに基づき、企業の経営基盤の強化や販路拡大などの支援を行い商工業の振興を図ります。 【施策2. 農林業の振興】 農業を支える多様な人材の育成・確保を図るとともに、営農支援や販路拡大への支援、森林整備や地元河内材の利用促進など農林業の振興を図ります。	資源の磨き上げ	河内長野産品充実支援事業(産地化・6次産業化支援)	農林課	
		③地域ブランド推進事業	産品ブランド拡大推進事業(ブランドプロモーションの展開)	産業観光課
			販路開拓支援事業(インバウンド客の取り込みに向けた事業展開支援(商品開発等))	産業観光課
	経営基盤整備	④森林への関心向上プログラム推進事業	木のある暮らし推進事業	農林課
			林業基盤整備事業	農林課
	⑤経営基盤整備に係る事業者支援等	女性の活躍サポート支援(女性の就労体験支援)	産業観光課	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業①	「奥河内くろまろの郷」観光プログラム推進事業	担当課 環境経済部農林課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成30年度実施事業	【農業体験と観光プログラムを活用した「体験プラン」の構築事業】 ・収穫体験及び農業体験の実施 ・体験プログラムの実施 ・収穫体験広告掲載	各種体験を充実したことにより、「道の駅奥河内くろまろの郷」に訪れる人が増加した。また、広告掲載により、収穫体験の参加者が増加した。 [参考指標] 収穫体験・農業体験実施団体数 : 2団体 (H29年: 2団体) 収穫体験・農業体験参加者数 : H31.1末時点1,796人 (H30年: 1,249人) 体験プログラム参加者数 : H31.1末時点3,070人 5施設15体験 (H29年: 2595人5施設10体験) 施設来訪者数 : H31.1月末時点428,867人 (H29年: 460,460人)	621
		(合計)	621

※平成30年度の事業費は見込み

	【30年度評価】	【30年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	・収穫体験や農業体験を継続的に実施し、PRを行うことで参加者が大幅に増加した。 ・体験プログラムを充実したことにより、参加者が増加した。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	・今後も収穫体験や農業体験が継続して実施できるよう、実施団体とコミュニケーションをとり、調整しながら進めていく必要がある。 ・体験プログラムに関しては、今後は団体やインバウンドの受け入れなどを積極的にPRを行っていく必要がある。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が評価交付金事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業②	奥河内魅力創出事業	担当課 環境経済部産業観光課・農林課

平成30年度実施事業	実施内容	成果	事業費(千円)
	【観光協会組織強化事業(基盤強化)】 ・観光地域づくりの中核となる観光協会の組織体制強化を図り、本市の観光魅力を効果的に発信した。	[参考指標] 観光事業に関する市民満足度 H30年:5.8% (H29年:6.5%)	5,000
	【観光拠点整備(観光案内所の充実)】 ・本市の玄関口である、河内長野駅前の観光案内所を観光ハブ拠点として活用を図るべく、基盤整備を推進した。	[参考指標] 観光事業に関する市民満足度 H30年:5.8% (H29年:6.5%)	3,150
	【奥河内サイクルツーリズム事業(レンタサイクルの実施 ガイド付サイクリングツアーの実施)】 ・奥河内サイクリングマップの改訂・増刷(1万部) ・道の駅パンフへのレンタサイクルの案内掲載(2万部) ・レンタサイクル用電動アシスト自転車バッテリーの追加購入(6台分) ・女性向け、初心者向けサイクリングの開催	レンタサイクルを活用したサイクリングを、昨年度から継続して実施した。サイクリングマップのPR効果により、多くのサイクリストが訪れている。 [参考指標] レンタサイクル利用数 :H31.1時点189人 (H29年:271人) 女性向け初心者向けサイクリング参加者数 :3回11人(H29年:3回16人)	1,022
	【奥河内ロゲイニング事業】 ・第4回大会の開催	[参考指標] 参加者数:235人 申し込み数:264人 (H29年申込数:329人)	200
	【着地型旅行商品の造成(情報コンテンツ等の充実、インバウンド含む)】 ・インバウンドを含む、本市を訪れる観光客に対し、旬な情報を提供するために、観光ポータルサイトの充実を図った。	[参考指標] 観光事業に関する市民満足度 H30年:5.8% (H29年:6.5%)	1,950
		(合計)	11,322

※平成30年度の事業費は見込み

担当者評価	【30年度評価】	【30年度の評価内容】
	②相当程度効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・観光事業に関する市民満足度が低下しているが、観光協会の組織体制強化を図るための事務局長の雇用や観光ポータルサイトの充実・SNSを活用した観光情報の発信を図るなど、本市の観光魅力の発信に取り組んだ結果、観光入込客数の増加に繋がっている。 ・「奥河内サイクリングマップ」を市内外のサイクルショップなどに配布するなど継続的にPRを行うことで、サイクリストの来訪は増加していると考えている。 ・奥河内ロゲイニング大会は、昨年度の中止の影響もあり、参加者は減少したが、参加者の約65%が市外からの参加者であることから、奥河内の魅力を発信できるイベントに適していると考ええる。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、関西を舞台にした国際イベントが続々と開催されるなか、本市を訪れる観光客が増加すると見込まれるため、観光客目線の情報発信・観光コンテンツの創出と受入環境整備を図りながら、戦略的な観光振興の推進に取り組んでいく。 ・「自転車によるまちづくり」が各地域で進められ、ますます機運が高まる中で、今後は庁内関係部署と連携して取り組む必要がある。

委員会評価	【委員会評価】	【評価等に対する意見】
	下記から選択して下さい。 取組事業が評価交付金事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業③	地域ブランド推進事業	担当課 環境経済部産業観光課・農林課

平成30年度実施事業	実施内容	成果	事業費(千円)
	【河内長野産品充実支援事業（産地化・6次産業化支援）】 ・イチジク苗の育苗委託 ・6次産業化に伴う補助の実施	イチジクの産地化にむけた栽培農家数が増加した。また、6次産業化を進める農家を支援することで、6次産業に取り組む農家が増加した。 [参考指標] イチジク栽培農家数 :6件予定(H29年:7件) 6次産業化補助団体数 :2団体(H29年:2団体)	414
	【産品ブランド拡大推進事業(ブランドプロモーションの展開)】 ・ブランドPRに伴うHPの更新 ・「奥河内フルーツラリー」を開催し、農商連携の促進、地産地消の推進を行うとともに、市外からの誘客のために大学等と連携し、情報発信を実施した。	[参考指標] イベント応募数:288人(H29年:250人) 参画事業者数:37店舗(H29年:36店舗)	2,254
	【販路開拓支援事業(インバウンド客の取り込みに向けた事業展開支援(商品開発等))】 ・市内事業者へのヒアリングによる、販路開拓や事業領域拡大における課題等の収集 ・上記課題に対する個別支援(新商品開発、新事業展開等への支援) ・経営改善のためのコンテンツ配信 ・展示会への出展 など	[参考指標] 展示会出展:18日間(H29年:17日間)	1,950
	実績	(合計)	4,618

※平成30年度の事業費は見込み

担当者評価	【30年度評価】	【30年度の評価内容】
	③効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・地産品に対する認知やイメージ向上に繋がっている。また、市外からの誘客のために、大学等と連携し実施した情報発信についても効果的であった。 ・イチジクの産地化に向け、栽培に取り組む農家を増やす事ができた。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、③「効果があった」、「④効果がなかった」

改善	【今後の課題・取組みなど】
	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き市外からの誘客を行うための情報発信方法を検討する。 ・産地化に向け、栽培農家の数を増加させるとともに、栽培指導等も積極的に進めていく必要がある。

委員会評価	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
	取組事業が評価交付金事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業④	森林への関心向上プログラム推進事業	担当課 環境経済部農林課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成30年度実施事業	【木のある暮らし推進事業】 ・第2回木のある暮らしコンテストの開催 ・おおさか河内材販売促進に係る備品作成 ・森林所有者等向け勉強会	第2回木のある暮らしコンテストでは全国から応募いただき、おおさか河内材の知名度向上と可能性の創出を行った。また、3月には森林所有者等向け勉強会を通じて所有者の森林への関心向上を図る。 [参考指標] ・木のある暮らしコンテスト応募総数51作品 ・おおさか河内材の販売促進に係る備品作成のぼり、ポスター等6種の備品作成 ・森林所有者等向け勉強会(予定) 3月23日 林業基礎講座 3月24日 現代林業戦略講座 例年、各講座20～30名参加	1,850
	【林業基盤整備事業】 ・林道の舗装 市を代表する観光資源である岩湧山や滝畑四十八滝へのアクセス道路であり、観光資源や観光基盤の維持管理のためにも重要となる林道の舗装を進める。	施工延長 L=76m コンクリート路面工 A=334㎡	4,028
	(合計)		5,878

※平成30年度の事業費は見込み

	【30年度評価】	【30年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	・木のある暮らし推進事業については、昨年度事業で商品化した木のある暮らしproductがウッドデザイン賞を受賞し、ふるさと納税の返礼品としても応募があるなど、地元材の認知度向上につながっている。今年度開催したコンテストにおいても全国から51作品の応募があり、おおさか河内材の認知度向上につながった。 ・林道の舗装については、計画どおりに事業が完了することによって、森林や文化財、観光資源の維持管理が適正に実施されることになり、観光資源等の魅力が向上し、更なる来訪者の増加が見込める。

評価: 交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	・第2回木のある暮らしコンテスト受賞作品についても木のある暮らしproductとして商品化を行う。引き続きおおさか河内材販売促進協議会と連携し、利用促進を行う。また、森林所有者向け勉強会として、林業基礎講座及び現代林業戦略講座も継続していく。 ・林道の舗装については、全体延長に対する舗装化率はようやく50%を超えたところで、来年度以降についても継続していく。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が評価交付金事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略・地方創生推進交付金事業 評価シート

事業名称	奥河内観光地域づくり推進事業	
要素事業⑤	経営基盤整備に係る事業者支援等	担当課 環境経済部産業観光課

	実施内容	成果	事業費(千円)
平成30年度実施事業	【女性の活躍サポート支援(女性の就労支援)】 結婚や子育て等様々な理由で離職した女性や、よりよい就労環境でもっと活躍したいと考える女性を対象に、再就職やスキルアップに繋げる女性就労支援事業を実施した。 女性就労支援事業 ・女性の働き方デザインセミナー(1日) ・女性再就職支援講座(6日間) (就職に必要な知識やビジネスマナー2日間・パソコンスキル4日間・希望者のみ就労体験2日間) ・キャリア相談(4回)	【参考指標】 ・セミナー参加者:17名 ・再就職支援講座参加者:7名 ・就労体験:6名 ・キャリア相談6名 (H29年度) ※前期後期の年2回実施 ・セミナー参加者:27名 ・再就職支援講座参加者:14名 ・就労体験:5名 ・キャリア相談21名 ※アンケート調査(回答14名) ・就職率約60%	950
		(合計)	950

※平成30年度の事業費は見込み

	【30年度評価】	【30年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	本市来訪者の消費喚起の担い手である市内商業者をはじめ、市内事業者の活性化に向けて、雇用確保が課題となっている。これらの課題に対し、女性活躍サポート支援では、女性の就労意欲向上に努めており、就職に結びつくケースも多く見られた。今後についても継続することにより、雇用確保の一助となることが期待される。

評価:交付金事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	・参加が多い40歳以上の女性に加え子育て世代の女性まで対象者を広げ就労意欲の向上を促し、尚且つ近年の多様化する就労ニーズに対応する事業を継続実施することが今後の課題である。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が評価交付金事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	